

楽しむ 繋がる 広がる

～家庭教育支援事業「逃走中」を通して～



邑南町スポーツ推進委員協議会

邑南町スポーツ推進委員協議会

- 委員数：25名（会長1名 副会長2名）
- 活動内容
 - ・ 大会、イベントの運営・スポーツの推進
（町バレー大会 ソフトバレー大会 家庭教育支援事業「逃走中」
障がい者スポーツ体験交流会 など）
 - ・ 出前講座への派遣 講座「軽スポーツを楽しもう」
※出前講座とは…町民への生涯学習活動の場に職員等を派遣し、学習機会を提供する。

子どもたちの体力低下と運動習慣の課題

子どもの体力向上支援事業～未就学児の運動プログラム～
うんどうだいすきえがおがいっぱい
指導者用資料より抜粋

体力低下

昭和61年の子どもたちの総合的な数値を100とすると今の子どもたちの数値は95

運動習慣

1週間のうち体育の授業以外では60分も運動しない小学5年生は、男子8.3%、女子22.8%

全く運動しない→それぞれ4.6%、11.4%（全国平均9.9%）

要因:少子化・過疎化による一緒に遊ぶ子どもがいない。

安全に遊ぶ場所がない。

親自身が子どもの頃から身近にゲームがあり、外遊びをしていない→我が子と外で遊ぶことが少ない。

お父さん、お母さんと一緒に体を動かす時間

||

子どもだけでなく、家族にとって楽しい時間

「楽しさ」→運動遊びの楽しさに繋がる



体を動かす習慣化

子どもの体力向上支援事業～未就学児の運動プログラム～
うんどうだいすきえがおがいっぱい
指導者用資料より抜粋

～スポーツ推進で大切にしたいこと～

楽しむ



他自治体で開催されている「逃走中」を行政と推進委員が視察し、邑南町でも開催決定！！(H30～R3年度まで計4回開催)

社会教育委員との協働

～スポーツ推進委員と社会教育委員それぞれの思いを共有し形にする～

家庭教育支援事業「逃走中」

目的：親子のふれあいやコミュニケーションを通じて「協調性」や「自発性」がそなわった子ども、あるいは、「人を思いやる」ことができる子どもを育てるために地域総がかりで家庭教育支援事業として取り組む。

- ・ 子どもの体力向上や大人の健康増進、スポーツのきっかけ作り
- ・ 親子のコミュニケーションづくり・互いの協調性を養う
- ・ 他者を思いやる気持ちを培う
- ・ 「鬼ごっこ」や「昔の遊び」を楽しむ（ふるさと教育）

「楽しむ」を「学び」に変える 楽しむ先にある「学び」

運動遊びを通して育つもの

幼児期の運動経験を通して育つものは、運動技能だけではなく、将来に向けての心や学びの基盤をつくる。

心情・意欲・態度
社会性
情緒
ルールを理解

心

運動

あそび

学び

教科へつながる学び、
工夫、創意、創造性

身体諸機能の発達
動きの獲得
生活習慣の確立

体

こどもの体力向上支援事業「うんどうだいすき えがおいっぱい 指導者用資料（平成26年3月島根県教育委員会）より抜粋

平成25年度子どもの体力向上指導者研修（西部ブロック）吉田伊津美先生（東京学芸大学）資料

～スポーツ推進のために必要なこと～
繋がる

社会教育委員との繋がり

それぞれの思いを
共有し、思い切り
楽しむ



親子での学びのため
に準備は万全

高校生との繋がり

令和3年度は地元高校生がボランティアとして参加
社会教育委員（校長）より、地域との交流を深めてほしいと意見があり参加が決定



陸上部がハンター
として・・・



生徒会は受付を担当



親子の繋がり



家庭教育支援事業「逃走中」

親子で
逃走中!!
～おおなん鬼ごっこバージョン～2021

令和3年 **10月30日** (土)

午前の部
9:30集合・受付 11:45終了予定

午後の部
13:30集合・受付 15:45終了予定

各回定員20組

会場: いわみスタジアム

□参加料: 一人200円 (保険料等・当日徴収)
□参加者: 小学生とその保護者 (2人1組)
□その他: 雨天中止。
その際は、事前に参加者へご連絡します。

参加される方には後日改めて案内文書をお送りします。

お申込みは教育委員会へご連絡ください。
TEL-0855-83-1127 IP-5100
申込締切: 10月15日(金)
※9:00～17:00でご連絡をお願いします。
※定員に限り次第、締め切らせていただきます。

主 催: 鳥取県教育委員会
共 催: 鳥取県スポーツ推進委員協議会、鳥取県社会教育委員の会
お問い合わせ: 鳥取県教育委員会 生涯学習課 担当: 原田・大塚・黒川

鳥取県に詳細を掲載しています

テレビでお馴染みの「逃走中」
おおなん鬼ごっこバージョンとして企画。
親子で参加し、3つのステージがあり、それぞれのミッションをクリアしていく。
クリアできなければ、ハンターが放出されてしまい、逃げ切らなければならない。

サイコロステージ
宝さがしステージ
親子VSハンターステージ (鬼ごっこ)

家庭教育支援事業「逃走中」

1. サイコロステージ

→サイコロを振り、ハンター面が出ればハンター放出

こうかな？！

ハンターの面が出ないようにサイコロの面を考えて投げたらいいよね

先に逃げてごめん！



まだ諦めないよ！！



家庭教育支援事業「逃走中」

2. 宝さがしステージ

→親子で協力し時間内に宝箱をあける。時間オーバーになると、ハンターが放出される。

南京錠って何?!
難しすぎる～(涙)

もっとこうしたらいいん
じゃない?

先に行くよ!!!

うちの子こんなに走るの
速かったの?!



家庭教育支援事業「逃走中」

3. 親子 VS ハンター ステージ

→野球グラウンド全体を使った鬼ごっこ。5か所あるチェックポイントをまわる。ハンターに捕まったらろうやに…。ミッションをクリアすることで復活！

ミッション：けん玉、なわとび、じゃんけん、ボッチャ

小学生速いー(涙)



Withコロナ

～新型コロナウイルスを想定した新たな手段を考える～
「できない」ではなく、どうやったらできるのか

新型コロナウイルス感染症対策（屋外であることを勘案）

- 受付での検温・健康観察
- 各所に消毒液を設置
- 受付・各チェックポイントを複数箇所に配置（「密」を避ける）
- スタッフはマスク、ハンターはフェイスガード着用
（参加者のマスク着用を強制し過ぎず体調管理に配慮する）
- ハンターは直接タッチせず、カラーボールを当てて捕まえる（直接触れない）



R3年度「逃走中」午前・午後2部開催参加組数：35組（70人）

～逃走中を通して～

広がる



親子、社会教育委員、地元高校生との関わり



地域との関わりが「広がる」

スポーツの楽しさが「広がる」

ケーブルテレビや社会教育だよりを通して
町民や県民へ「広がる」

さいごに

今回の取り組みの効果

- ・親子が身体を動かす場の提供

→体力向上＋健康増進

- ・親子のふれあいの場の提供

→親子のコミュニケーションづくり

スポーツ推進委員として

町民に身体を動かす場の提供



スポーツをすることの楽しさの実感



身体を動かすことの習慣化へ

つなげていきたい



ありがとうございました。